

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ！

職場討議資料

JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿を一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義
労働組合が果たすべき役割
私たちが求める労使関係
あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

第19回 あるべき労働組合・JR連合の運動

【JRの代表産別としての政策実現の取り組み】

JR連合は、わが国の鉄道の健全な発展を通じて社会に貢献し、働く者の雇用と生活を守る運動を進めています。政策活動として、「鉄道を活かした持続可能な交通づくり」を目標に、交通政策をまとめ、その実現に取り組んでおり、とくに、経営基盤の脆弱な北海道・四国・九州のJR三島会社やJR貨物の経営安定の課題、政治介入も懸念される整備新幹線の建設に関する課題、災害復旧や防災対策の強化など、緊急課題の実現のために政治や行政への働き掛けも行っています。また、政策実現のために、「国会議員懇談会」（12名）、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」（79名）を設け、JR連合の方針について緊密な意見交換を行い、国政を通じた要求実現の取り組みを進めています。政策実現のためには、政治、行政、社会の信頼が欠かせません。信頼があって、はじめて私たちの意見が受け入れられます。JR連合はJRの代表産別として信認を得て、JRの発展、働く者の幸せのために政策活動、政治活動などを積極的に進めています。

